

平成28年度教育委員会事務局運営の総括表

基本方針・重点方針	取組名	平成28年度重点取組			備考	所属等
		目標	計画・条例等	実績		
開かれた学校づくりと市民との共汗で進める教育改革	1	保護者・地域が学校運営に参画する「学校運営協議会」の設置拡大や、学期初や長期休業等を含めた学校運営の在り方の検討	学校運営協議会の更なる活動充実、中学校・中学校区における小中合同での設置拡大、学校運営協議会の取組の先進事例の発信、学期初や長期休業期間の在り方の検討	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・239校・園（幼12、小166（全校）、中53、総8）に学校運営協議会を設置（市区町村別設置数は全国最多） ・研修会やコミュニティスクール通信の全校園への配布等により先進事例を紹介。	学校指導課
	2	子どもたちの教育環境の充実をめざした地域住民・保護者との共汗で進める学校統合及び新しい学校づくり	伏見区向島小中一貫教育校創設に向けた取組の推進、醍醐小学校と淳風小学校の統合に向けた取組の推進、京北地域小中一貫教育校創設に向けた取組の推進、小規模校の保護者・地域への的確な情報提供と論議・検討の促進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・向島中学校区小中一貫教育校の平成31年4月の創設に向け、「創設協議会」（計4回）開催等による開校準備を推進。 ・醍醐小・淳風小統合校の新校名が「下京雅」に決定。平成29年4月の統合・開校に向け、「開校準備協議会」（計5回）開催等による開校準備を推進。 ・京北地域小中一貫教育校の創設に向け、「検討協議会」（計5回）や「施設整備検討部会」（全4回）「通学安全検討部会」（計2回）開催等による取組を推進。 ・小規模校の保護者・地域への的確な情報提供と論議・検討の促進	教育環境整備 学校統合推進室
確かな学力の育成	3	家庭環境に関わらず全ての子どもたちの可能性を最大限引き出す確かな学力と学習習慣の定着に向けた教育環境の充実	小・中学校全校での「土曜学習」の実施、未来スタディ・サポート教室を拡大し、中学校40校程度（全中学校の約6割）で実施、義務教育9年間の確かな学びを支える「京都市小中一貫学習支援プログラム」の推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・全小・中学校での「土曜学習」の実施 ・放課後等に補習を行う未来スタディ・サポート教室を拡大し、中学校54校で実施 ・義務教育9年間の確かな学びを支える「京都市小中一貫学習支援プログラム」の推進	学校指導課
	4	小中一貫教育ガイドライン（試案）に基づく義務教育9年間の系統性を確保した校区の状況に応じた全中学校区での小中一貫教育の推進	全中学校ブロックで小中一貫教育ガイドライン（試案）に基づき校区の状況に応じた小中一貫教育を推進、中学校区における小中学校合同の学校運営協議会の設置拡大	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・全中学校ブロックで小中一貫教育ガイドライン（試案）に基づき、小中一貫教育構想図等の作成などによる、校区の状況に応じた小中一貫教育の推進 ・小中学校合同の学校運営協議会を拡大し、23中学校区に設置	学校指導課
	5	適正な教職員評価による教員の資質・指導力向上と学校・幼稚園の活性化	ミドルリーダー層の拡大・養成に向けた研修実施、OJT活性化、自宅等から研修映像を視聴できる「おうちポータル」等のコンテンツ充実、英語教育や道徳教育等の喫緊の教育課題に関する研修の充実、育児休業中教職員の円滑な職場復帰に向けた支援の充実、給与に反映する教職員評価「査定評価」制度の円滑な実施と教職員の意欲喚起	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・「ミドルリーダー」層の拡大と養成に向けた研修等の実施と「京・教育研究・研修マイスター」の活動充実 ・「京都市OJT実践ガイドライン（試案）」を活用した研修等の推進 ・若手・中堅教員が互いの資質・力量の向上を図る「若手・中堅教員実践道場」をはじめとしたOJTの活性化 ・「総合教育ポータルサイト」の機能充実と自宅等から研修映像を視聴できる「おうちポータル」の運用充実（おうちポータルのコンテンツ数 27年度 97本、28年度 106本） ・英語教育や道徳教育等の喫緊の教育課題に関する研修の実施 ・育児休業中教職員の円滑な職場復帰に向けた研修の実施 ・給与に反映する教職員評価「査定評価」の実施	教職員人事課、 総合教育センター
創造的で個性豊かな子どもの育成	6	国際文化観光都市・京都ならではのグローバルコミュニケーション力の育成や伝統文化体験活動等の充実	中・高等学校全校での茶道教室など小・中・高等学校全校での伝統文化体験活動の実施、英語教育推進研究拠点校での小学校英語教科書等を見据えた取組の推進や、英語検定補助事業による中・高校生を受験促進、海外研修・留学への支援や日吉丘高校「英語村」の運用、京都・観光文化検定チャレンジ事業による中・高校生を受験促進、博物館施設等での体験の充実や平安京創生館の授業等での活用推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・全小中高等学校で伝統文化体験活動を実施。 ・京都市英語教育推進研究拠点校を22校（小16、中5、高1）指定し全国に先駆ける「京都ならではの英語教育」の実践研究を実施。 ・中学生約4,500名、高校生約500名が補助事業を活用して英検を受験。 ・海外研修・留学支援並びに日吉丘高校「英語村」を活用した実践的英語学習・各種交流事業等の実施 ・京都・観光文化検定を、市内在住・在学の中高校生706名が受験	学校指導課、 生涯学習部、 生涯学習総合センター
	7	環境教育・理科教育の推進と企業・大学等と連携した青少年科学センターの取組の充実	KE S 学校版「環境にやさしい学校」小・中・総合支援学校（小・中学部）全校認定、こどもエコリフチャレンジ推進事業の小学校全校での実施、青少年科学センターの年間入場者数の増加（年間12万人）、企業等の協力による企画展示の実施	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・KE S 学校版の全小・中・総合支援学校（小・中学部）認証取得。 ・全市立学校、幼稚園における環境宣言の策定。 ・こどもエコリフチャレンジの全小中学校での実施。 ・青少年科学センターの年間入場者数の増加（27年度113,853人 28年度116,337人） ・青少年科学センター展示スペースのリニューアルによる新展示品「カラフル光ラボ」の公開及びローム株式会社の協力による特別展「LEDが切り拓く明るい未来」の開催	学校指導課、 青少年科学センター
	8	子どもの読書活動の推進に向けた「第3次京都市子ども読書活動推進計画」の実践と学校司書の配置拡大等、学校図書館の活用促進	学校司書の配置日数の拡大、京都市図書館所蔵図書への年間団体貸出冊数40,000冊以上、京都市図書館による学校園への出前事業や、タブレット端末型PCの活用など学校図書館の機能充実に向けた取組の実施	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・学校司書を全小・中・総合支援学校へ配置及び配置日数を拡大。 ・「読書ノート」や「学校図書館活用ノート」の配布 ・京都市図書館所蔵図書の学校への団体貸出（年間39,930冊）やブックトーク、読み聞かせ等を実施 ・タブレット端末型PCを活用した調べ学習等の実施（小学校24校、中学校16校、総合支援学校6校）	学校指導課、 生涯学習部、 各図書館
	9	社会的・職業的自立に向けた生き方探究教育の充実や、学校での学びを地域・社会の課題解決につなげ社会参画の方や政治的教養を育む教育の推進	生き方探究教育に係る各種体験学習実施校の拡大（小・中・総合支援学校で延べ464校）、「政治的教養を育む教育学習指導案集」や国の副読本を活用した発達段階に応じた体系的・計画的な授業等の実施、地域や社会での貢献活動やボランティア活動の実施	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・生き方探究教育に係る各種体験学習実施校の拡大（小・中・総合支援学校で延べ472校）内訳：スチューデントシティ学習（164校9,877名）、ファイナンスパーク学習（66校6,043名）、京モノづくりの殿堂・工房学習（164校10,098名）、生き方探究・チャレンジ体験推進事業（78校9,777名） ・「政治的教養を育む教育」実践モデル校（11校）を中心に、「政治的教養を育む教育学習指導案集」を活用した授業や、選挙管理委員会等の外部機関と連携した出前授業を実施。	学校指導課、 京都まなびの街 生き方探究館
10	多文化が息づくまちづくりに向けた外国人児童生徒等への日本語指導体制等の充実	帰国・外国人児童生徒等の受入体制の充実と個の状況に応じた日本語指導の拡充、日本語指導担当教員等の指導力向上を図る研修会の充実	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・日本語指導担当教員の派遣等の総合的な支援を行うトータルサポート校を設置し、日本語の巡回指導の担当教員及び、学校生活の適応促進や通訳等の母語による支援を行う母語支援員を増員する等、支援体制を充実。 ・日本語指導担当教員等に対して、「日本語指導担当教員指導力向上セミナー」を年間7回、夏季休業期間の「多文化共生社会実現に向けた研修会」実施など、指導力向上に係る取組を充実。	学校指導課	

基本方針・重点方針	取組名	目標	平成28年度重点取組		備考	所属等
			計画・条例等	実績		
心身ともに健全でたくましい子どもの育成	11 「道徳教育推進月間」の取組や新学習指導要領の先行実施による教科化に向けた実践等、しなやかな道徳教育の充実や体験活動の推進等、子どもの規範意識を育むための取組の推進	6月・10月の「道徳教育推進月間」における小・中学校全校での公開授業（保護者参加型）や、新たに指名する「道徳教育推進リーダー教師」による各行政区での取組の展開等、全市をあげた研究・実践の推進、非行防止教室の実施（小・中・高等学校全校）や、中学校の生徒会活動の活性化、長期宿泊・自然体験推進事業の実施（小164校）	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校全校での道徳の公開授業実施をはじめ、全30校の研究指定校を中心に、小中一貫の下で保護者や地域と共に「教科化」に向けた実践研究を実施。新たに指名した「道徳教育推進リーダー教師」による各行政区での自主研修等の取組を展開。 ・「京都市中学校生徒会サミット」の開催（8月10日） ・「京都市子どもとの豊かな心と規範意識を育む関係者会議」（計2回）の開催。 ・全小・中・高等学校で非行防止教室を実施。 ・3泊4日以上の宿泊体験事業として、長期宿泊・自然体験推進事業を全市164校で実施 	学校指導課、生徒指導課、生涯学習部、総合教育センター、花青山の家	
	12 いじめ・不登校の未然防止と早期発見・解決に向けた対策の充実	いじめ防止条例等に基づき、「京都市子どもの豊かな心と規範意識を育む関係者会議」の開催等、市民ぐるみの取組の充実、引き継ぎ、スクールカウンセラーを小・中・高・総合支援学校全校へ配置するとともに、スクールソーシャルワーカーの配置拠点を拡大（29校）による体制の充実、教員が学級実態をより適切に把握するためのクラスマネジメントシートの活用、「ふれあいの社」や洛風・洛友中学校等、不登校を経験した子どもの学びと育ちを支える活動の展開	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都市いじめの防止等に関する条例」及び「京都市いじめの防止等取組指針」に基づきいじめの未然防止及び早期発見、迅速かつ適切な対応並びにいじめの再発防止に関する取組の充実 ・全小・中・高・総合支援学校（計29校）へスクールカウンセラーを配置 ・29校（28小学校及び1高等学校（定時制））にスクールソーシャルワーカーを配置するとともに、ニーズに応じ随時支援を行う派遣型スクールソーシャルワーカーを1名任用 ・洛風・洛友中、市内5力所での教育支援センター（適応指導教室）「ふれあいの社」運営 ・洛友中学校の夜間部で、不登校等の事情で実質的に義務教育を十分に受けることのできないまま中学校を卒業した者（形式卒業者）の受け入れ開始（平成28年度入学者から） ・文部科学省委託事業として、引きこもり傾向のある小・中学校の不登校児童生徒等を対象とした訪問支援員による家庭訪問「ふれあい・アテンダント」を実施。 	生徒指導課、教育相談総合センター	
	13 学校・地域・保護者・関係機関等との連携による薬物乱用防止教育の徹底や、ケータイ、スマートフォン、携帯ゲーム機等、携帯情報通信機器不適切利用防止対策の推進	小・中・高等学校全校における薬物乱用防止教室、薬物乱用防止にかかる教職員研修の実施、青少年健全育成団体と学校・地域・家庭が連携した薬物乱用防止のための研修会や啓発活動の実施、携帯情報通信機器に関する学習・啓発プログラム「みんなで考えよう！スマートフォン・ゲーム機とのつきあい方」の導入、携帯電話事業者との連携による「ケータイ教室」の実施、携帯電話市民インストラクターによる保護者向け啓発講座の実施、「学校非公式サイト等のネット監視システム」の実施	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中・高等学校における薬物乱用防止教室の実施 ・薬物乱用防止にかかる教職員研修の実施 ・携帯電話事業者との連携による、携帯電話・インターネットの危険性等を伝える授業「ケータイ教室」（177校）の実施 ・携帯電話市民インストラクターによる保護者向けの啓発講座の実施（66回 2,266人） ・「みんなで考えよう！スマートフォン・ゲーム機とのつきあい方（携帯情報通信機器に関する学習・啓発プログラム）」の実施（79校 6,094人） ・「学校非公式サイト等のネット監視システム」による、ネット上の不適切な書き込みの監視（定期調査12回。検知投稿件数2,280件）の実施 	生徒指導課、体育健康教育部、生涯学習部	
	14 「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた食育・健康教育、児童生徒の体力向上に向けた取組・運動部活動の充実や、安全教育・安全管理の徹底、防災教育の推進	栄養教諭の全校配置に向けた配置拡大による食に関する指導の充実、「京都市立小学校における食物アレルギー対応の手引」に基づく食物アレルギー対策の推進、「京都市通学路交通安全プログラム」に基づく関係機関が連携した通学路の安全確保の取組、水泳指導をはじめ教育活動における安全対策の徹底、中・高等学校の運動部活動における外部コーチ派遣事業の拡充	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭の配置拡大、アレルギー対応本格実施 ・水泳指導をはじめ教育活動における安全活動の徹底 ・中・高等学校の運動部活動における外部コーチ派遣事業拡充（派遣回数：約8,500回） ・「京都市通学路交通安全プログラム」に基づく関係機関が連携した安全確保の取組充実 	学校指導課、体育健康教育部、花青山の家	
障害のある子どもへの教育の推進	就学前からの切れ目のない支援や総合支援学校における職業教育の充実、発達障害のある子どもへの学習支援の充実等、障害者差別解消法施行を踏まえた施策の推進	総合育成支援員の配置充実、きめ細かな就学相談の実施、「就学支援シート」の全就学前施設での実施、東山総合支援学校（28年4月独立開校。旧・白河総合支援学校東山分校）を中心とした、地域・企業等との連携による新たな職業教育の推進、総合支援学校生徒の実習先企業数の拡大、LD等通級指導教室での指導を受けることのできる児童生徒の拡大、手話に関する理解促進や難聴・弱視学級の教育環境の充実	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する全ての学校への総合育成支援員の配置充実（27年度：253校園353名、28年度：252校園376名） ・市内の全就学前施設で「就学支援シート」を実施。（提出数 27年度：898校、28年度：999校） ・東山総合支援学校を中心とした、地域・企業等との連携による新たな職業教育の推進 ・LD等通級指導教室の拡大（対象児童生徒数 27年度：590名、28年度：781名） ・手話に関する理解促進（学校・園へのリーフレット配布、学校への講師派遣事業や教職員を対象の研修・教材について周知） ・難聴・弱視学級の教育環境の充実（難聴学級におけるUDトーク導入、弱視児童生徒用の拡大読書器等の整備） 	総合育成支援課	
魅力あふれる高校づくりの推進	進路希望の実現を目指す特色ある高校づくり、「新しい定時制単独高校」や「新しい普通科系高校」の創設に向けた取組	各市立高校における魅力あふれる教育の推進、技術で社会に貢献する人材育成を目指す京都工学院高校の着実な運営、「新しい定時制単独高校」創設に向けた基本設計・実施設計の着手、「新しい普通科系高校」創設に向けた基本構想の策定	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科系5校：4年制大学現役進学率67.8%、工業高校2校：学校幹旋就職内定率100%（15年連続） ・京都工学院高校の開校 ・「新しい定時制単独高校」の創設に向けた取組の推進（基本設計・実施設計に着手、「新定時制単独高校の創設に係るワーキンググループまとめ（案）」の作成、「まとめ（案）」に対する市民意見募集の実施） ・「新しい普通科系高校」創設に向けた取組の推進（「新普通科系高校創設に向けての中間まとめ」の作成と市民意見募集の実施、「新普通科系高校創設に向けてのまとめ」の策定、基本構想の策定） 	学校指導課	
子育て支援の充実	子ども子育て支援新制度を踏まえた、子育て環境の一層の実現に向けた市立幼稚園の預かり保育の充実等	市立幼稚園全園で、原則として長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育の充実	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市立幼稚園全園で、長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育を実施。 	学校指導課	
子どもたちがいきいきと学べる安心安全で特色ある教育環境整備	18 防災と環境に配慮した学校施設・施設整備事業の計画的な推進	体育館リニューアル事業：工事着手（4校）、設計の実施（4校）、体育館改築事業：工事着手（2校）、設計の実施（2校）、プールリニューアル事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校）、校長長寿命化事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校）、基本計画策定（3校）、「学校施設マネジメント計画 第1期行動計画」の策定	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館リニューアル事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・体育館改築事業：工事着手（2校） ・プールリニューアル事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・校長長寿命化事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校）、基本計画策定（3校） ・「京都市学校施設マネジメント基本計画」の策定 ・「京都市学校施設マネジメント行動計画（案）」の作成 	教育環境整備室	
	19 学校図書館のリニューアル、学校トイレの洋式化等、学校施設の整備推進	市内産木材を活用した学校図書館の環境整備（44校）、快適トイレの整備（14校）、洋式トイレの整備（15校）	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市内産木材を活用した学校図書館の環境整備（62校） ・快適トイレの整備（14校） ・洋式トイレの整備（15校） 	教育環境整備室	
生涯学習の推進	20 市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の構築	生涯学習ポータルサイトの充実、博物館や大学等との連携による多彩な学習機会の提供、充実	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習ポータルサイトのシステム改修を実施 ・博物館や大学等との連携による多彩な学習機会（講座・展示・イベント）を実施 	生涯学習部、生涯学習総合センター	
	21 市立図書館の更なる利便性の向上	貸出冊数・利用者数の増、図書館環境の整備	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市立図書館における貸出冊数754万冊、利用者数424万人 ・隣接自治体との図書館相互利用の開始（宇治市 H28.4～） ・4中央館での土曜開館時間延長の試行実施（H28.5～8） ・サビエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）への加入（H28.7～） 	各図書館	
	22 日本初の開催となる「ICOM（国際博物館会議）京都大会2019」の成功に向けた取組	庁内組織や関係団体との連絡会議等、大会成功に向けた準備・運営体制の構築、京博連に加盟する博物館による関連企画展等、大会の機運を高める事業の検討・調整	はばだけ未来へ！京プラン実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内連絡会議の設立 ・ICOM周年大会2019京都推進委員会の発足 ・ICOMミラノ大会2016視察 ・ICOM大会開催記念イベント「ナイト・ミュージアムトーク・京都」実施 ・京博連加盟館の学芸員等による「ミュージアム・京・ミーティング」実施 	生涯学習部	